

市町村等在宅医療・介護連携推進事業研修会の開催について

R5.9.1

1 日時・会場

日時 令和5年11月14日（火） 14:00～16:00

会場 オンライン研修（Zoom 又は Microsoft Teams を予定）

2 研修目的

【研修テーマ】「地域の実情」に応じた医療・介護の体制整備に向けて（仮題）

地域包括ケアシステムの推進に当たっては、「地域の実情」に応じた取組を進めていく必要がある。本県でも、地域毎に地域包括ケアシステム構築・深化の取組を進めているが、人口減少や高齢化の進行スピード、人員・資源等の地域差が大きい中で、各地域で「地域の実情」を把握し、それを踏まえた取組を実施することが重要である。

これらの状況を踏まえ、在宅医療・介護連携に関する講演と、本県の取組事例を紹介することで、改めて在宅医療・介護連携について考える契機とし、もって地域包括ケアシステムの推進に資するものとする。

3 対象者

各市町村の在宅医療・介護連携推進事業の担当課長又は担当者（地域包括支援センター含む）

在宅医療・介護連携支援センター（郡市医師会）の職員

群馬県医師会・郡市医師会の担当理事

保健福祉事務所・庁内関係課の担当者

計約100人

4 研修内容（案） ※時間は仮置き

(1) 行政説明【15分程度】

群馬県健康長寿社会づくり推進課

(2) 事例紹介 県内取組報告【15分程度講演+10分質疑応答】

高崎市医療介護連携相談センター南大類

「高崎市における在宅医療・介護連携事業の取組」

(3) 講演【60分程度講演+15分質疑応答】

ニッセイ基礎研究所上席研究員 三原 岳 氏

『「地域の実情」に応じた医療・介護の体制整備に向けて』（仮題）